

【資料 3 -3】

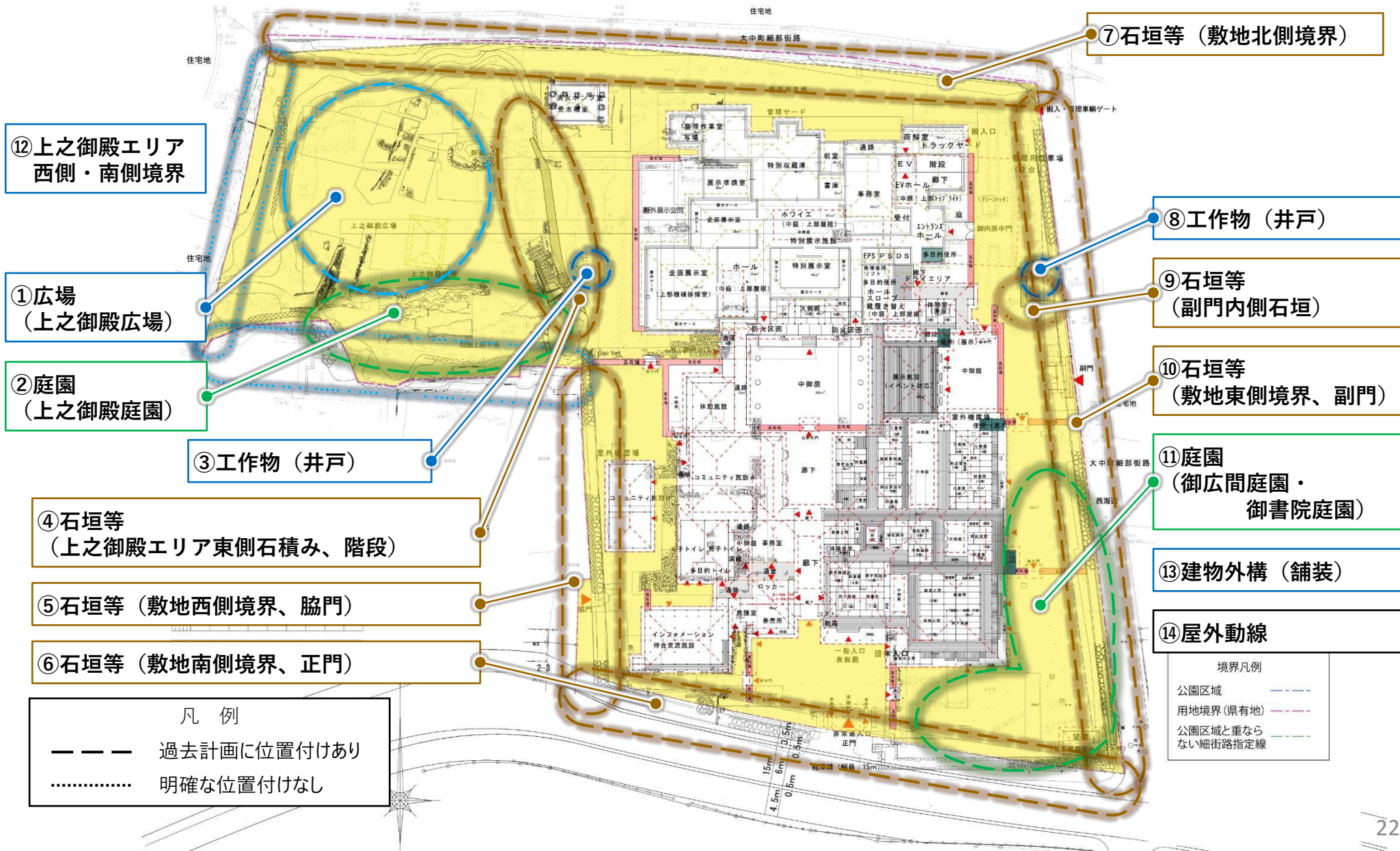
議事3) 外構・庭園の見直しの考え方・配慮事項について

- 1.対象範囲と主な構造物
- 2.外構・庭園に関する現行計画の概要
- 3.外構・庭園の課題及び改定ポイント

1.対象範囲と主な構造物

外構での検討範囲及び主な構造物は下図のとおりである。

※中庭及び屋敷内障壁（瓦屋根石垣）は、建築外構として建物と一緒に検討する。



2.外構・庭園に関する現行計画の概要

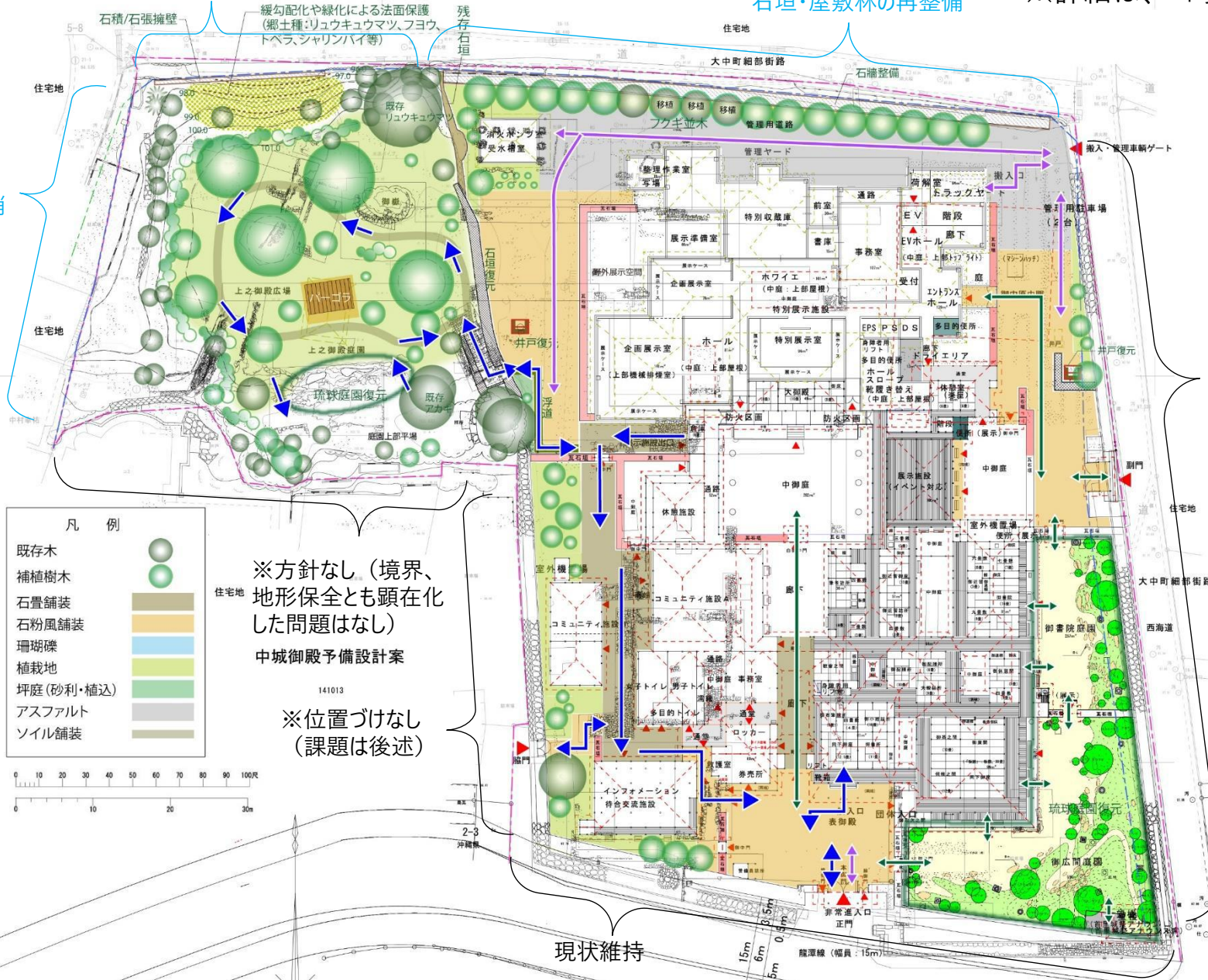
※詳細は、「参考資料」を参照

敷地境界
問題の解消

擁壁等の整備

石垣・屋敷林の再整備

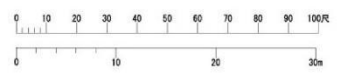
現状維持／副門整備



- 凡例
- 既存木
 - 補植樹木
 - 石畳舗装
 - 石粉風舗装
 - 珊瑚礫
 - 植栽地
 - 坪庭(砂利・植込)
 - アスファルト
 - ソイル舗装

※方針なし(境界、地形保全とも顕在化した問題はなし)
中城御殿予備設計案
141013
※位置づけなし(課題は後述)

- 動線凡例
- 見学主動線
 - 特別見学動線
 - 管理車両動線
- 境界凡例
- 公園区域
 - 用地境界(固有地)
 - 公園区域と重ならない細街路指定線



現状維持

3.外構・庭園の課題及び改定ポイント

①敷地境界の整備の考え方

北側斜面地の崩落

- 上之御殿エリア北側の斜面地で崩落が見られ、遺構や現存石垣の保護が必要である。
- 後述する動線見直しとあわせて対応を検討する必要がある。

北側石垣・屋敷林

- 石垣と屋敷林による再現が位置づけられているが往時の資料はない。
- 中城御殿の風格とまちなみ景観への調和を満たす石垣の高さや技法の検討が必要。

脇門及び石牆の保全・修復

- 植物の繁茂により状況は確認しづらいが、若干の孕みが見られる。
- 現況確認調査に基づいて、文化財に相当する技術での石牆の積み直し等が求められる。



3.外構・庭園の課題及び改定ポイント

①敷地境界の整備の考え方 現況写真

上之御殿エリア北側斜面地



敷地北側境界



脇門及び石牆



3.外構・庭園の課題及び改定ポイント

②発掘調査成果の反映及び遺構保護等の考え方の整理

立岩

- 発掘調査では立岩を覆う石積みの基礎が検出された。この外側に石階段があったと想定される。
- 石階段の整備方法等について検討する必要がある。



上之御殿広場の石牆

- 石牆の遺構がよく残り、広場に段差があったことが判明した。また、階段と思われる遺構も検出されている。
- 段差を踏まえた広場計画の見直し、遺構保護を踏まえた活用方法について検討する必要がある。



上之御殿エリア東側石積み

- 東側石積みは遺構がよく残り、これを保全しつつ整備活用することが想定されるが、その際には文化財に相当する技術が求められる。



石階段など

- 石段は遺構がよく残り、これを保全しつつ整備活用することが想定されるが、遺構保護の観点からの活用方法を検討する必要がある。



3.外構・庭園の課題及び改定ポイント

③動線計画の再整理

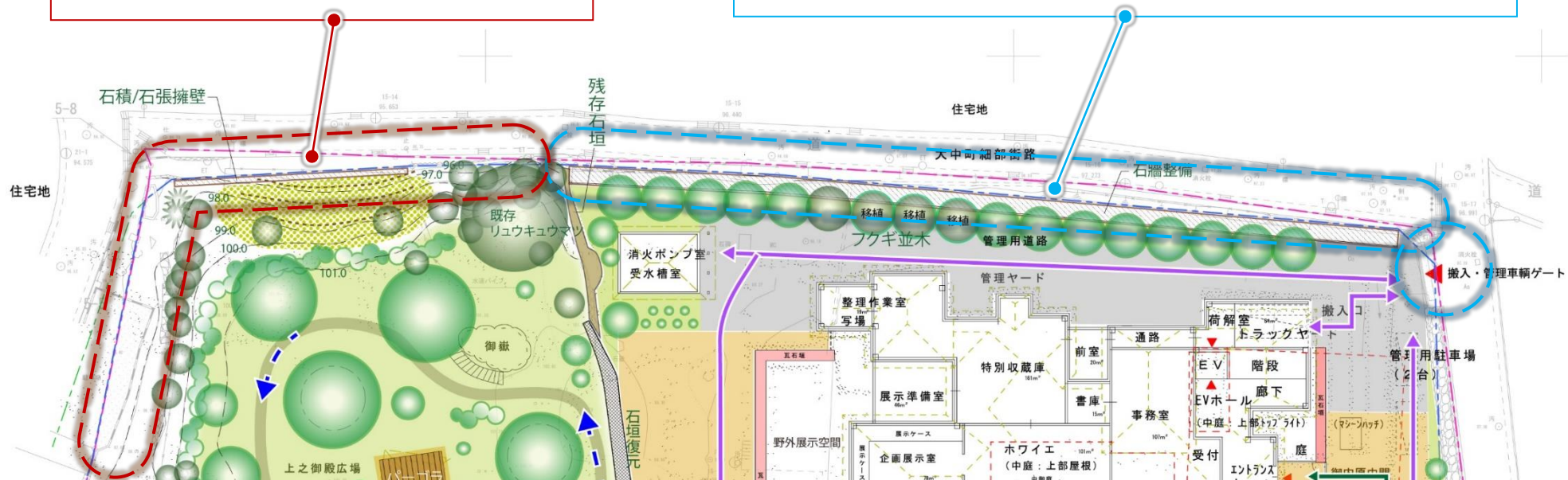
- 屋外における動線については、非常時の避難の観点から改めて再検討する必要がある。特に、現計画では出入り口が設けられていない北側からの敷地への出入りについて、見直しが必要である。
- 動線見直しにあたっては、屋内動線や利用シーン、近隣住民のアクセス性向上、整備工事の順序などを踏まえて検討を行う。

上之御殿エリアの北側・西側境界

- 非常時の避難経路として、また、近隣住民の無料エリアへのアクセス経路、他エリア工事中のアクセス経路として、北側（あるいは西側）に出入り口を検討する。
- 遺構の保存や道路との高低差の解消方法が検討課題である。

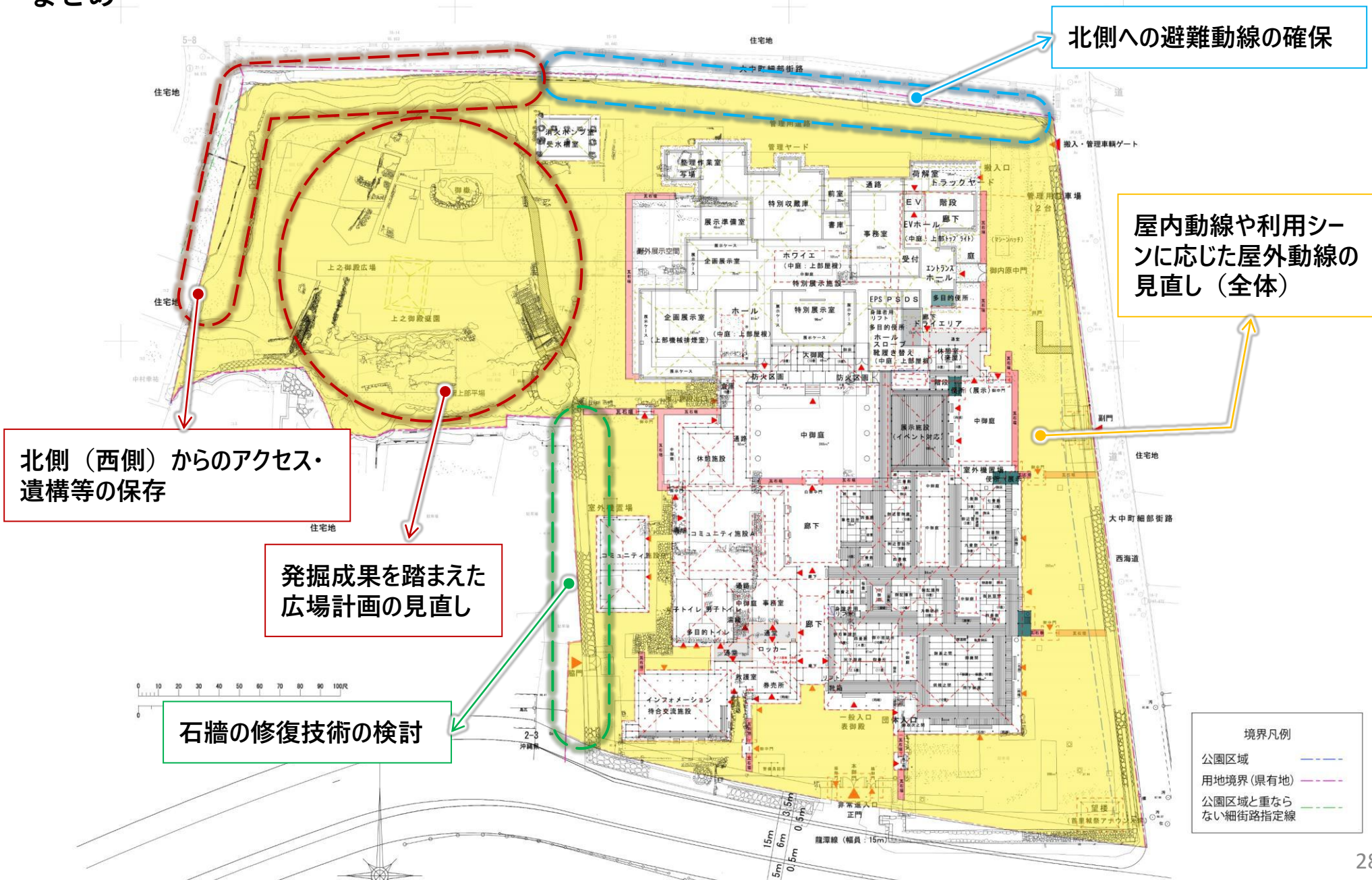
特別展示・鑑賞エリアの北側境界

- 非常時の避難経路として、また、近隣住民の無料エリアへのアクセス経路、他エリア工事中のアクセス経路として、北側に出入り口を検討する。
- 管理ヤードにつながるため、人流の管理方法などが検討課題である。
- 管理ヤードへの搬入ゲートは、石垣の連続する景観との調和を図りつつ、安全・機能的な出入り空間を確保することが課題である。



3.外構・庭園の課題及び改定ポイント

まとめ



北側への避難動線の確保

屋内動線や利用シーンに応じた屋外動線の見直し（全体）

北側（西側）からのアクセス・遺構等の保存

発掘成果を踏まえた広場計画の見直し

石牆の修復技術の検討

境界凡例
 公園区域 ————
 用地境界(県有地) ————
 公園区域と重ならない細街路指定線 ————